

嚥下機能評価検査における イオヘキソール の使用について

実施内容	嚥下機能評価検査（嚥下造影検査：VF、Videofluoroscopic Swallowing Study）において、造影剤としてイオヘキソールを経口投与する。
対象患者	・ 嚥下機能評価が必要な患者
承認日	2026年7月8日（承認外医薬品使用評価委員会 承認）
実施期間	承認日以降、継続的に実施する
目的・概要	嚥下障害は誤嚥性肺炎、窒息、低栄養等の原因となるため、適切な評価と治療方針の決定が重要である。嚥下造影検査（VF）は、造影剤を含む検査食を摂取しながら嚥下運動をX線透視下で観察する検査であり、嚥下障害診療における標準的評価法の一つである。イオヘキソールは本来、血管造影やCT造影等を目的とした非イオン性ヨード造影剤であるが、嚥下造影検査においては誤嚥時の安全性を考慮し、経口造影剤として使用されることがある。本適応外使用は、嚥下機能を正確に評価し、安全な経口摂取方法の検討および誤嚥性肺炎予防を目的として実施する。
予想される 不利益と対策	【予想される不利益】 ・ 造影剤によるアレルギー反応 ・ 誤嚥による咳嗽や呼吸状態悪化 ・ 検査時の不快感 【対策】 ・ ヨード造影剤アレルギー歴の事前確認 ・ 必要最小限の造影剤量で検査を実施 ・ 検査中および検査後の全身状態を観察 ・ 有害事象発生時は速やかに適切な処置を実施
■ 問い合わせ先	イムス葛飾ハートセンター TEL：03-3694-8100（代表） （受付時間：平日 9:00～17:00）